

## 質問回答書(1002-2)

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 質問対象の工事番号 | 病建工 第1号         |
| 質問対象の工事名  | 市立秋田総合病院新病院建設工事 |

市立秋田総合病院新病院建設室

質問回答月日:令和元年10月10日

| No. | 質問   | 回答  |
|-----|--|---|
| 1   | S-002特記仕様書-2 6章 コンクリート工事 1節一般事項に、セメントの種類が記載されておりマスコングリートでは、低熱または中庸熱ポルトランドセメントの仕様になっていますが、秋田市内生コン組合に確認したところ取り扱いが無いようです。普通ポルトランドセメントと考えて宜しいでしょうか。医療支援棟も同様です。ご指示ください。                               | よろしいです。   |
| 2   | “厨房機器リスト表02”にて、温度管理システムとの記載がございますが、室温・冷蔵庫等の機器の管理を有線にて行うと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>Ah-031、Ah-033  | 左記の通りでよろしいです。   |
| 3   | “昇降機設備詳細図1”にて、特記仕様欄に「常時主索検査装置(パルスシステム)」等のメーカー独自仕様の記載がございますが、メーカー標準仕様として宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>※不可の場合は固定メーカーのみの対応となります。<br>Ak-001   | よろしいです。   |
| 4   | 既設融雪設備について、Ⅱ期工事エリアに既設キュービクルがありますが、撤去構造物リストに記載が無く、移設等の記載もございません。着工時には撤去されていると考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>Am-024、Am-031、Am-032、Am-033  | 今回工事で撤去です。<br>工事の進捗に応じて部分撤去とし、医療支援棟建設時には全て撤去としてください。                          |
| 5   | 特記仕様書にて見本施工についての記載がありますが、“電気設備工事特記仕様書”では、「見本施工に使用したものを再利用し、本工事に再設置しない。」と記載あります。“機械設備工事特記仕様書”では、「見本施工に使用したものを再利用、再設置してもよい。」と記載があり、内容が相違している為、“機械設備工事特記仕様書”を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>E-SP-03、M-003 | E-SP-**の特記仕様書記述を正としてください。   |
| 6   | “電気設備工事特記仕様書(2)”にて、「2 電線保護物類」で記載されている屋外ケーブルラック等の仕様では「ステンレス鋼板」となっておりますが、幹線系統図(高圧・接地)他の注記では「Z35」と記載されており、相違がございます。「ステンレス鋼板」を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>S-SP-04、E-LF-01                               | E-SP-**の特記仕様書記述を正としてください。   |
| 7   | “電気設備工事特記仕様書(2)”にて、「2 電線保護物類」で記載されている屋外ケーブルラック等の仕様では「ステンレス鋼板」となっておりますが、幹線系統図(高圧・接地)他の注記では「Z35」と記載されており、相違がございます。「ステンレス鋼板」を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>S-SP-04、E-LF-01                               | SUS鋼板製とします。   |
| 8   | “電気設備工事特記仕様書(3)”にて、工事範囲外項目の中に「(a)受変電設備内各バイパス盤」と記載されておりますが、本工事との列盤となる為、本工事側のメーカーに合わせたバイパス盤が本工事盤の据付に沿った工程で施工されるものと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。<br>E-SP-05、E-TR-01  | 発注区分上、別途工事設定ですが、施工段階では、各系統毎にAC配電盤・ACバイパス盤・GCバイパス盤・GC配電盤を一体連結として製作する想定としてください。 |

| No. | 質問   | 回答  |
|-----|--|---|
| 9   | <p>電話設備にて、“電気設備工事特記仕様書(3)”及び“構内交換設備仕様書”では、「電話設備の機器は工事範囲外とする。」と記載ありますが、“工事区分表(2)”及び“電話設備系統図・平面図”では一部機器のみ工事範囲外と解釈できます。“電気設備工事特記仕様書(3)”を正として、「電話設備の機器は工事範囲外」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-SP-05、E-SP-09、E-CM-01、E-CM-02、E-CM-05</p>                                   | <p>電気設備工事特記仕様書(3)記述を正として、電話設備の機器は別途工事とします。主配線盤(MDF)、端子盤は本工事に含まれます。配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込部等のみ施工するものとします。</p> |
| 10  | <p>LAN設備にて、“電気設備工事特記仕様書(3)”では、「LAN設備の機器および配線は工事範囲外とする。」と記載ありますが、“LAN設備系統図・平面図”では19インチラックのみ本工事と解釈できます。“電気設備工事特記仕様書(3)”を正として、「19インチラックも含めてLAN設備の機器は工事範囲外」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-SP-05、E-CM-03、E-CM-06</p>   | <p>電気設備工事特記仕様書(3)記述を正としますが、19インチラックは本工事に含まれます。その際、配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込部等のみ施工するものとします。</p>                 |
| 11  | <p>診察案内表示設備にて、“電気設備工事特記仕様書(3)”では、「診察案内標記設備の機器および配線は工事範囲外とする。」と記載ありますが、“診察案内設備仕様書”では「配管、配線は別途工事とする。」と記載があります。“電気設備工事特記仕様書(3)”を正として、「診察案内標記設備の機器および配線は工事範囲外とし、配管のみ本工事」として宜しいでしょうか。本工事の場合、天井裏隠蔽ケーブル分も配管保護を行うと想定して宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-SP-05、E-ID-01、E-ID-02</p> | <p>E-SP-**の特記仕様書記述を正として、配管のみ本工事とします。配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込部等のみ施工するものとします。</p>                               |
| 12  | <p>講堂AV設備にて、“電気設備工事特記仕様書(3)”及び“講堂AV設備図”では、「講堂AV設備の機器および配線は工事範囲外とする。」と記載ありますが、“工事区分表(2)”では「講堂AV設備のみ電気設備」と記載があります。“電気設備工事特記仕様書(3)”を正として、「講堂AV設備の機器および配線は工事範囲外」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-SP-05、E-SP-08、E-AV-01、E-AV-02</p>  | <p>E-SP-**の特記仕様書記述を正として、配管のみ本工事とします。配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込部等のみ施工するものとします。</p>                               |
| 13  | <p>入退室管理設備にて、“電気設備工事特記仕様書(3)”及び“入退室管理設備仕様書(1)”では、「機器および配線は工事範囲外とする。」と記載ありますが、“工事区分表(2)”及び“入退室管理設備仕様書(2)”では電気工事と記載されています。“電気設備工事特記仕様書(3)”を正として、「機器及び配線は工事範囲外」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-SP-05、E-SP-09、E-SQ-01、E-SQ-02</p>  | <p>E-SP-**の特記仕様書記述を正として、配管のみ本工事とします。配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込部等のみ施工するものとします。</p>                               |
| 14  | <p>“動力設備 6階平面図”及び“照明制御設備 内視鏡室1系統図”にて、一部エコケーブルの記載がありますが、その他の図面では全てのケーブルが一般ケーブルとなっております。全て一般ケーブルとして宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-P-07、E-LD-24</p>   | <p>一般ケーブルとして計上してください。</p>   |
| 15  | <p>立体駐車場エリアに実線にて「電灯分電盤(PB1L-1)」の記載がありますが、“電灯分電盤負荷表”には記載ございませんので、工事範囲外として宜しいでしょうか。本工事の場合は負荷表をご指示ください。</p> <p>E-EX-01</p>  | <p>別途先行工事範囲のため計上不要です。</p>   |
| 16  | <p>オイルタンク室に設置される器具の仕様が、“電灯設備 6階平面図(2)”では照明器具が一般仕様(A32)となっておりますが、“自動火災報知設備 6階平面図”では、感知器が防爆仕様となっており、仕様が相違しております。照明器具の仕様も防爆仕様として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-L-18、E-FA-11</p>   | <p>照明器具も防爆仕様で計上してください。</p>  |

| No. | 質問  | 回答  |
|-----|---|---|
| 17  | <p>屋上機械室及び医療ガス機械室に設置される器具の仕様が、「E69」の照明器具(埋込型)となっております。“電灯設備 PH階平面図”では、レースウェイ取付となっている為、6階機械室と同様に「B69」の照明器具(直付型)として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-L-26、E-L-29</p>   | よろしいです。   |
| 18  | <p>電波時計設備にて、電波時計本体の記載がございませんが、電波時計本体は「別途」と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>E-WC-02</p>   | よろしいです。   |
| 19  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「蒸気管」の欄にて、「配管用炭素鋼鋼管(黒)」と「圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)(Sch40)」の2種類に●印が記載されておりますが、使用区分が不明です。「配管用炭素鋼鋼管(黒)」を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。 M-005</p>  | 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch40)とします。                                  |
| 20  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「排水(厨房)高温を除く」の欄にて、「強化ポリプロピレン二層管」と記載されておりますが、厨房排水配管種は高温排水系統を「強化ポリプロピレン二層管」、一般排水系統は「硬質塩化ビニル管(VP)」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-005</p>  | 左記の通りでよろしいです。   |
| 21  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「空調用排水」の欄にて、50A以上の配管種が「耐火性硬質塩化ビニル管」と「耐火二層管」の2種類に●印が記載されております。又、“凡例表”では「40A以上は排水用耐火二層管」との記載もあり、相違しております。50A以上の配管を「耐火性硬質塩化ビニル管」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-005、M-016</p>      | 耐火二層管とします。  |
| 22  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「医療機器冷却水」の欄にて、「配管用ステンレス鋼鋼管(Sch40)」と記載されておりますが、“凡例表”では「硬質塩化ビニルライニング鋼管(VA)」と記載されており、相違しております。「配管用ステンレス鋼鋼管(Sch40)」を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-005、M-016</p>                  | 左記の通りでよろしいです。   |
| 23  | <p>機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「温水管」の欄にて、「配管用炭素鋼鋼管(白管)」と記載されておりますが、凡例表では「配管用炭素鋼鋼管(白管)」と「配管用炭素鋼鋼管(黒管)」の2種類が記載されており、相違しております。「」を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-005、M-016</p>                                    | 60°C以上の温水配管を配管用炭素鋼鋼管(黒管)、それ以外を配管用炭素鋼鋼管(白管)とします。           |
| 24  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「ポンプアップ排水管」の欄にて、「100A以上」の配管サイズの場合は硬質塩化ビニルライニング鋼管と記載されておりますが、“凡例表”では「65A以上」が硬質塩化ビニルライニング鋼管と記載されており、相違しております。「100A以上」を硬質塩化ビニルライニング鋼管として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-005、M-016</p> | 左記の通りでよろしいです。   |
| 25  | <p>“凡例表”にて、人工透析排水管の使用管材に「耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管」及び「耐熱性耐火二層管」の2種類の記載がありますが、使用区分として、ピット内を「耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管」、その他を「耐熱性耐火二層管」として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-016</p>   | 左記の通りでよろしいです。   |
| 26  | <p>“機械設備工事特記仕様書 NO.3”の「3.1.4 空気調和設備工事の保温」の欄に「●天井内、PS内を通過するRI排水・ドレン配管には鉛巻を施す。」と記載ありますが、全ての天井内、PS内と考えて宜しいでしょうか。必要な場合の厚さは遮音用と考えて0.5mm程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-006</p>                          | RI排水管が通過する全ての天井内、PS内は鉛巻きとし、ドレン配管への鉛巻きは不要とします。鉛厚さは1mmとします。 |

| No. | 質問  | 回答  |
|-----|---|---|
| 27  | <p>“機械設備工事特記仕様書NO.5”の「(6)管等の凍結防止」の欄にて、「凍結の恐れのある給水管・排水管・消火管・冷却水管・ドレン管・冷温水管については、電気温床線巻を行う。」との記載があります。“消火設備1階平面図”には免震層階(1階)に凍結防止ヒーター巻きの記載がありますが、給排水図面には記載がありません。1階部分は凍結の恐れがあると考えて、凍結防止ヒーター巻きを見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>M-007、PL-D-003、PL-F-13</p>  | <p>1階部分は凍結の恐れがあるため、凍結防止ヒーター巻きとします。その他、凍結の恐れがある部分として、屋外露出(地上および塔屋、外壁露出部)、屋外機械室、免震ピット、サービスヤード(機械室、廃棄物室等含む)、塔屋機械室を見込んでいます。</p> <p>参考見込み数量は、金抜き設計書の各保温工事に記載の凍結防止ヒータを参照してください。</p> |
| 28  | <p>“機器表 熱源(2)(医療棟)”にて、小型貫流ボイラーの機器番号BS-H-1が「ガス・油切替専焼式」及び「ガス焚き」の2種類ありますが、“熱源フロー図”、“熱源機械室詳細図-2”では1台のみの記載となっております。機器番号BS-H-1は「ガス焚き」の小型貫流ボイラーとして宜しいでしょうか。</p> <p>又、「ガス・油切替専焼式」の小型貫流ボイラーを正とした場合は、熱源機器への給油設備が工事範囲外となっておりますが、油切替時の試運転調整は工事期間内に可能と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>AC-B-002、AC-F-001、AC-G-202</p> | <p>BS-H-1、BS-H-2ともにガス焚きとします。</p>  |
| 29  | <p>“機器表 熱源(2)(医療棟)”にて、温水発生機の機器番号BH-H-1が「ガス・油切替」及び「ガス焚き」の2種類ありますが、“熱源フロー図”、“熱源機械室詳細図-2”では1台のみの記載となっております。機器番号BH-H-1は「ガス焚き」の温水発生機として宜しいでしょうか。</p> <p>又、「ガス・油切替」の温水発生機を正とした場合は、熱源機器への給油設備が工事範囲外となっておりますが、油切替時の試運転調整は工事期間内に可能と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>AC-B-002、AC-F-001、AC-G-202</p>                | <p>BH-H-1、BH-H-2、BH-H-3 全てガス焚きとします。</p>   |
| 30  | <p>“機器表 ヒートポンプエアコン(1)(医療棟)”にて、注記の予備フィルターの欄に○印の記載がない為、予備フィルターは見込まないものと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>AC-B-012</p>   | <p>左記の通りでよろしいです。</p>  |
| 31  | <p>“機器表 ヒートポンプエアコン(3)(支援棟)”にて、室内機(ACP-S-3-4-1)が4台と記載されておりますが、平面図上では2台となっており、相違しております。平面図を正として、2台設置と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>AC-B-105、AC-F-108</p>  | <p>平面図を正とします。</p>   |
| 32  | <p>“機器 ファン(支援棟)”にて、注記の欄に「10.屋外仕様(※標準仕様)」と記載ありますが、室外機は耐塩害仕様となっており、仕様に相違がございます。屋外型の送風機についても、耐塩害仕様として宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>AC-B-108</p>   | <p>左記の通りでよろしいです。</p>  |
| 33  | <p>“医療ガス設備 器具図(1)”にて、液体酸素タンク等に参考図と記載ありますが、参考図と記載されている機器も本工事と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>PL-G-027</p>  | <p>左記の通りでよろしいです。</p>  |
| 34  | <p>井水ろ過設備にて、機器が別途工事と記載されておりますが、“井水ろ過設備平面図・断面図”に記載のある、ろ過機械室の配管スペースまでの突出しまでを見込めば宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>PL-L-001、PL-L-002</p>  | <p>井水ろ過機器のみ工事対象外であり、配管等は本工事です。</p>  |